

**B 個別学習 (B2)**

## 主な学習活動

「教育作品展」を鑑賞し、様々な作品のよさを味わう。

**1 本時のねらい**

いわき地区の小・中・支援学校が共同で開催している「教育作品展」(webページ)を鑑賞し、自他の作品のよさを感じ取り、見方や感じ方を広げるとともに、主体的に創造活動に取り組む態度を育てる。

**2 主に活用したICT機器・コンテンツ等**

Google Forms

電子黒板

**3 参考にしてほしいポイント**

Webの利点を生かし、多くの学校の多様な作品が整理された見やすい形式でアップされている。授業においては、Google Formsを利用することで感想・意見の回収、交換なども容易にできる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自のタブレットからWebページを開き、各学校の作品を閲覧する。</li> <li>感想や意見をまとめる。</li> </ul>	<p>各家庭に配付されたQRコードをタブレットで読み込み、Webページにアクセスする。難しい場合は生徒のクラスルームにアドレスを送る。ページが開いたら自由に学校を検索し、作品鑑賞を行う。感想や気になる作品、自分でもやってみたい作品などをピックアップし、Google Formsに入力、投稿する。</p>

タブレット

+

電子黒板



「教育作品展」にアクセス



みんなで作品鑑賞

**4 活用効果**

教室にいる状態で多くの多様な作品を鑑賞することができ、造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げることができた。自分の考えをまとめることも容易にでき、積極的に活動する姿が見られた。

**5 アドバイザーからのコメント**

美術作品の鑑賞においては、作品を手元でじっくりと観察する必要があります。じっくり観察することで、作者の意図や価値観を感じ取ることができますが、それは理科の実験でも同じで、背後に隠されている本質を取り出すこともと言えます。すぐに評価できる点もよいですね。(東京工業大学 赤堀侃司)

多くの作品に出会いやすくするという点で、webを通じた鑑賞は有用に働くことが期待されます。鑑賞後の集約結果を基に次の制作方針を決めるなど、学習者の思いが形になる場面が増えると、主体的な学びの点においてより効果が期待できそうです。(福島大学 平中宏典)